

時代を牽引する

AI特集

AI（人工知能）によってビジネスシーン は日々変化し続けている。AIの特徴は、膨大なデータから学習し、判断する能力を高めていくこと。第三次AIブームと言われている昨今。ディープラーニングという手法で人間の表情などを分析するシステムも登場した。ブライダル業界で、接客支援や、業務効率化などに活用できる可能性のあるサービスを検証していく。

サウスポイント



代表取締役社長
満田和哉氏

一般宴会やブライダルの音響照明を手掛けるサウスポイント（本社：福岡市博多区）は、AIによる結婚式BGM提案サービス「WiiiiM（ウィーム）7.0」を1年前から開発している。年内にリリースする予定だ。取引先企業を中心に導入し、その後全国展開も視野に入れていく。

BGM提案サービスを開発

6000曲超のデータから分析する

AI企業と連携して開発したサービス。経済産業省により「異分野連携新事業分野開拓計画」に認定された事業だ。

「当社はプランナーの派遣も行っています。その中で結婚式のBGMの選定は、プランナー個人の力量で顧客満足度にバラつきがあるという課題に気が付きました。クオリティを均質化したいと考え、このサービスの開発に至りました。」（代表取締役社長・満田和哉氏）

5年前から同社が運営している結婚式BGMランキングサイト「WiiiiM」には、2200組以上の新郎新婦の披露宴で使われた約6000曲に上るデータを蓄積している。その中で入場や手紙などシーンごとに

使われた楽曲を分析。また、顧客にはあらかじめ年齢、披露宴会場、好きな曲、出会った時期などのアンケートを入力してもらう。一組一組に合わせたBGMを、アニメーション技術で制作した、AIを搭載したバーチャルプランナー「ナナ」がシーンごとに提案していく。

「通販サイトで『あなたにおすすめの商品』が出るイメージ。過去近似したアンケート結果を持つカップルが選んだBGMを分析し提案します。」（満田氏）



▲ プランナーのBGM選定業務削減が期待できる